

えっ、ホントに！埼玉の宝石は食べられるの！？

ゲーム・宝飾・リサイクル業界に衝撃を与えた、あの【宝石キャッチャー】を誕生させた、埼玉にある、『世界一のゲームセンター』がおくる

埼玉県の魅力発信クレーンゲーム第6弾!!

「食べられる宝石キャッチャー」登場！



↑「食べられる宝石キャッチャー」
のポスター



↑UFO下部の指で、黒い結束バンドを押し込んで
景品をGETする



↑景品の「彩果の宝石」の写真
(※彩果の宝石公式HPより)

2016年3月テレビで取り上げられ日本全国のゲームセンターに真似される、本物の宝石が獲れるクレーンゲーム【宝石キャッチャー】を誕生させた株式会社東洋(本社:埼玉県北本市/代表取締役 中村秀夫)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数が240台でギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリディ行田店(埼玉県行田市)」は、2017年7月20日(木)に、埼玉県の銘菓で、『彩果の宝石(さいかのほうせき)』が景品で獲れる【食べられる宝石キャッチャー】を登場させました。

エブリディ行田店は、ゴールデンウィークや夏休み、年末年始などの大型連休に、北は北海道、南は沖縄県と、日本全国からの来店にとどまらず、海外からもクレーンゲーム好きの外国人が訪れる店舗で、【食べられる宝石キャッチャー】は、今年の夏休みに、埼玉県内・外から訪れる方へ、埼玉県の魅力を発信し、「埼玉県をより知って頂けたら」という思いで設置した、第6弾となる埼玉魅力発信クレーンゲームです。

埼玉県魅力発信クレーンゲームとして、過去には、①北本市の「トマトカレー」キャッチャー、②川越市の「さつまいも」キャッチャー、③鴻巣市の「川幅うどん」キャッチャー、④行田市のさきたま古墳群に因んだ「はにわ」キャッチャー、⑤埼玉銘菓「十万石まんじゅう」が景品のうますぎる埼玉特産キャッチャーを展開し、中には、人気過ぎて景品が足りなくなるクレーンゲームもあったりと、大変ご好評頂いております。

『彩果の宝石』は、株式会社トミゼンフーズ(本社:埼玉県さいたま市/取締役社長 小堤敏幹氏)が製造するゼリーで、現地から取り寄せた果物の果汁や果肉を厳選し、たっぷり使用されている為、フルーツの味が濃縮されており、グミよりも柔らかくゼリーより固い、やや歯ごたえのある食感で、45種類ある、**気品漂う宝石のような色とりどりのゼリー**です。過去に、【さいたま推奨土産品】金賞受賞、【埼玉県彩の国優良ブランド品】【全国観光土産品連盟より推奨品】などに認定されている**埼玉が誇る名産品**です。